

## 平成29年度 調布市立第三中学校 学校経営計画

### 学校教育目標

1 自ら学び考え、向上しようとする人      2 自他を思いやる、心豊かな人      3 心身を鍛え、たくましく生きる人

### 目指す学校像(ビジョン)

- 生徒自らが主体的に明るく活動し、地域に貢献できる活気ある学校
- 礼儀を重んじ日常的に挨拶ができ、自分や他人を大切に作る学校
- 教師は専門性を高め授業力を向上させ、一人一人に向き合い、生徒・保護者・地域から信頼される学校

### 本校の現状と課題

- ・明るく活発な生徒が多く、授業や行事に意欲的に取り組んでいる。部活動への加入率が高く、活発に活動している。反面、内的問題を抱える生徒もいる。
- ・学校としてインクルーシブ的教育の意義と目的の理解、実践を深め、教師の授業改善から一人一人を大切に教育の実践をする。
- ・安全教育研究指定校として、生徒の危機管理や安全意識の向上を図り、今年度発表会を実施する。そのための実践が課題となっている。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標 ※ 数値目標が可能な項目について設定する
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を定着させ、基礎的基本的な学習内容を身に付けさせる。</li> <li>・教員の授業力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数授業やTTによる授業の推進</li> <li>・体験的な学習の実施</li> <li>・各種学力検査を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学科、英語科で少人数授業、保体科でTTの実施をしていく。</li> <li>・発達段階を意識して、個に応じた対応を行う。数学科、英語科では習熟度による段階的な指導を行う。</li> <li>・体験的な学習を通して、知識の定着を図る。</li> <li>・各種学力検査を行い学力向上に活用する。</li> </ul>	全国学力学習状況調査において、全国平均を上回る。体力テストで都の平均を上回る。学校評価の保護者アンケート項目で肯定意見を80%以上。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互による授業研修の実施</li> <li>・通常級における特別支援教育の推進</li> <li>・OJTを実施し若手教員の資質向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員がお互いの授業を見合うことで指導技術の交流を行いつつ、授業力を向上させる。</li> <li>・特別支援教育の事例から学ぶ研修や、特別支援コーディネーターを核とした校内組織の基盤を作る。</li> <li>・見本となる教員の授業を参観して、授業におけるノウハウを研修する機会を設ける。</li> <li>・若手教員には、担当毎の指導教員をあて、授業や活動等を学ぶ機会を設けていく。</li> </ul>	校内研究を促進し、夏季研修、指導教諭模範授業、調布市中学校教育研修会への積極的な参加をする。生徒の授業評価の肯定意見80%以上。
健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重、生命尊重を基盤とした豊かな心を育成する。</li> <li>・個人の規範意識を高め、集団としての規律を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的組織的な生活指導を行う。</li> <li>・いじめや危険性のある行為の早期発見と指導を行う。</li> <li>・道徳の授業を要として、あらゆる機会に指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導主幹を軸として、全員が情報を会議等で共有し、組織的に同じ思いで生徒指導にあたる。</li> <li>・いじめは「しない、させない、ゆるさない」を日常的に伝えていき、生徒アンケートを有効に活用する。</li> <li>・道徳担当を中心に「特別の教科 道徳」の基本的な考え方、目標の理解をし、授業時数のみならず内容を充実させる。</li> </ul>	学校評価の保護者アンケート各項目で肯定意見を80%以上、安全安心メールの加入率80%以上、アレルギーと交通事故ゼロを目指す。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の基本的な生活習慣の確立</li> <li>・生徒の意欲を引き出し、主体的活動的に取り組ませる。</li> <li>・自尊感情、自己有用感を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒には「時間・挨拶・礼儀」を指導し、教職員は生徒への言葉かけを含む言語環境を整える。</li> <li>・授業、学活、行事等において、それぞれのねらいと目標を明示し、生徒が意欲的に取り組めるように意図的に指導する。</li> <li>・生徒にとって「感謝される体験」を通して自尊感情を高め、係活動や部活動で自己有用感をもたせる。</li> </ul>	生徒アンケートや学期の生活振り返りで肯定意見が80%以上。また、生徒との日常的なコミュニケーションにより、把握。
健康・体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力の向上を推進し、将来にわたって運動することの楽しさや、その意義を学ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック教育推進校として、世界や障害者に目を向けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック教育を通して生徒の体力向上を図ると共に、日本の伝統・文化や芸能、他国の文化等についての理解を深める国際理解教育の充実を図る。</li> <li>・ボランティア活動や環境教育等に対しても積極的に取り組み、多様な課題に対応できる生徒の育成を図る。</li> <li>・オリンピックの講演会を実施し、目標に向かって運動（努力）する大切さを認識させる。</li> </ul>	10月は超一流のオリンピック・パラリンピアンによる授業を計画する。これは、一般に公開する。また、地域のボランティア活動への参加を支援する。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育的行事や部活動を体力向上、心の指導の原点と位置づけた指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に関する指導を通して生徒の自主性を養い、自己肯定感を高め、主体的な活動へと導く。</li> <li>・部活動を通じて、規範意識や自主的自律的な意識を高め、主体的な活動へとつなげていく。</li> <li>・部活動部長会で奉仕活動等の善行を計画・実施し、所属意識（プライド）をもたせて指導に生かす。</li> </ul>	生徒主体によるボランティア活動を年間に数回行わせ、それを学校評価にて検証する。各種集会を生徒に行わせ、自己有用感をもたせる。
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と地域から信頼され、安心される学校にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた学校づくりのため、保護者や地域の願いを学校運営に反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に便りを発行して、活動を広報していく。学校、学年、生活指導等の便りを発行し、学校情報を伝える。</li> <li>・学校のHPを活用して、リアルタイムな活動を広く公開していく。</li> <li>・学校行事の保護者アンケート、学校評議員会、学校関係者評価委員会等の意見を反映した学校運営を行う。</li> <li>・本校の活動を学区の小中学校に広く宣伝し、学校選択に向けて積極的にアピールしていく。</li> </ul>	本校の活動や様子が外部からも分かるように定期的な便り配布やHPの更新を行う。また、地域や保護者の意見が吸い上げられる校内組織を構築する。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を活用したり、地域行事に関わり、共に活動する生徒の育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動、健全育成、福祉施設、公民館等と連携し、地域に貢献する活動を行う。</li> <li>・生徒会活動で、地域での活動意欲や郷土愛を育成し、ボランティア活動につながる意識付けをする。</li> <li>・地域の人材を活用して、体験活動を実施して教育活動に幅を持たせる。</li> </ul>	生徒や学校事情が許す限り、地域の活動へ生徒を派遣する。生徒アンケートで肯定意見が80%以上になるようにする。
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全教育研究研究校」として、変化する社会で主体的に行動する力を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に対しての安全安心意識が向上する授業や取組の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調布市防災教育の日において、生徒のボランティアによる主体的な活動を支援し、防災意識や安全意識をもたせる。</li> <li>・各教科で安全意識が高まる授業を計画・実施する。（命の大切さ）</li> <li>・朝読書を定着させ、落ち着いた一日の始まりから集団帰属意識を高めて、集団貢献への気持ちをもたせる。</li> </ul>	1学期中に防災・安全意識に対してアンケートをとり、2学期のアンケートでその意識向上を図る。朝読書においては、実施する付帯効果として、遅刻者0を目指す。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会や部長会を中心にした生徒主導の活動を行わせる。</li> <li>・部活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちに与えられた課題や問題点を解決できるように、生徒会や部長会に仕事を与え、話し合いから実行させる。（いじめ撲滅活動、地域清掃、あいさつ運動、ファーストエイド等）</li> <li>・真剣に部活動に取り組ませ、努力させ、その成功体験や努力することから、前向きに生きる大切さからを学ばせる。</li> </ul>	生徒会や部長会の活動を支援し、その効果を日常的に判断をし、生徒アンケートで高まりを図る。